



伊藤 房代 議員



### 小・中学校へのエアコン設置について

**問**

学校の体育館は、子どもたちの教育の場であり、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担っている。児童・生徒に加えて避難者も安心して過ごせるようにすることが大事。近年は、全国的に猛暑日が増えており、命と健康を守るためにも早急に学校の体育館への空調整備(エアコンの設置)が必要と考える。今後の計画について伺う。

**答**

市内小・中学校のうち、中学校の体育館への空調設備の設置については、先行して設計業務を進め、早ければ令和8年度中に設置したいと考えている。これに伴い、中学校の設計業務委託の補正予算を本定例会に上程した。小学校の体育館のうち、ひかた椿小学校については、令和9年4月の開校に向けた大規模改造工事に併せて、中学校と同様に令和8年度中には空調設備を設置する予定。そのほかの小学校についても、積極

的に検討していく。

### 高齢ドライバーの安全対策について

**問**

ペダル踏み間違い事故における運転者の死亡率は、他の一般的な交通事故に比べて10倍以上も高いことが分かっている。この事実は、踏み間違い事故が単なる操作ミスではなく、生命に関わる極めて危険な事故であることを明確に示している。旭市でも、高齢ドライバーの安全運転を支援する後付け踏み間違い防止装置設置への補助はできないか伺う。

**答**

踏み間違い防止装置は、高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違い事故の防止に一定の効果を発揮するものと認識されており、令和10年9月以降の新車乗用車には搭載が義務づけられることとなった。後付け踏み間違い防止装置の取り付けに係る費用の補助については、現在のところ、千葉県内では銚子市のみが行っているほか、茨城県守谷市やつくばみらい市などが実施している。費用の補助については、実施中の自治体の補助実績を基に必要性を検討したい。

### その他の質問事項

○投票率向上について

### 第3期旭市総合戦略の地域福祉の充実について

**問**

計画最終年度までにどのような状態にしようとしているのか。市の生活保護受給率が全国、県と比較して低いのは、低所得者が少ないのか、拾えていないのか調査する必要がある。

**答**

生活保護業務は国からの受託事務で、基本的に市町村で業務内容の違いはない。制度を適切に実施した結果である。

**問**

福祉の手が届かない問題が旭市では起こっている。このような問題に目を向けた計画にしてみたい。市長の考えは。

**答**

私が職員に言っているのは、もう市役所の中だけで我々の仕事は完結しない、まちへ出て市民と一緒にまちづくりをしようという話をしている。

**問**

学校再編の進捗状況について(仮称)北統合中学校の予定地はどうなっているのか。

**答**

北統合中学校は、新しい場所に新築する方針。地域検討会議を設置し、新設場所の候補地についても意見を伺っている。

### 旭市の職員の労働環境並びに労働条件について

**問**

今年になってから、保育所の中でハラスメント問題があった。ハラスメントがなぜ起こるのか、職場の中にハラスメントを起こす人間関係があるから。旭市役所の職場の中は誰もが平等に働ける環境ではない。そのような環境の中の社会心理学的状況から、ハラスメントが起こる。市はいろんな状況で長期に休んでいる職員が5人もいると言っていた。正規職員640人前後の中で長期休暇が5人もいるのは大変なこと。ハラスメント対策は現在どのようなになっているのか。

**答**

多くの職員がハラスメント根絶に向けた機運を醸成できるように研修を計画し、受講させている。

**問**

何%の職員がハラスメントの研修を受講しているのか。100%を目指すべき。

**答**

パーセントとしては、今はつきりとした数字は持ち合わせていない。